

©産報出版株式会社 2021

溶接ニュース

産報出版株式会社
 東京都千代田区神田佐久間町1-1-1
 産報ビル2階202号 電話 03-3258-4111
 FAX 03-3258-6430
 編集室 1175-66-0210
 大阪南港地区支社 電話 06-6533-3720
 電話 06-6533-0840
 FAX 06-6533-0840
 年費購読料:25,633円(税込)

探訪 新入社員教育

榛葉鉄工所(静岡県掛川市)

オートバイのマフラ
 ーを製造する榛葉鉄工
 所(静岡県掛川市)に
 今年4月、大野雄斗さ
 ん(22)、金原誠也さ
 ん(18)、増田理沙さ
 ん(18)が入社した。

榛葉貴博社長は「3
 人ともものづくり、溶
 接が好きで当社を就職
 先を選んでくれた。彼
 らに限らず、近年、当
 社に入社する新人は溶
 接職を希望する人が多
 い。ものづくりの根幹
 技術である溶接に興味
 を持ってくれることは
 非常にうれしく、頼も
 しい」

榛葉鉄工所の場合、

かけて経験してもら

1年のOJTで経験積む

研修は若さと自身アピールの場

う(榛葉社長)ことでの緊張感と責任感、
 を念頭に、総務をはじめとして仲間意識を育ん
 む、本社工場、掛川工 どもらいたい。研修期
 場での製造工程や製造 間は互いの顔見世的な
 管理などの各部署を数 要素を多分に含んでい
 カ月ずつ回り、実際の る。だからこそ新人ら
 もものづくりに携わる。 には「どの職場でも元
 作業手順や基本動作は 気よく挨拶し、若さと
 もちろん、特に溶接技 自分自身を大いにアピ
 ールしなさい」と繰り返して
 返し激励している「
 (榛葉社長)

基本的にはOJTを新
 入社員教育の柱に据え
 ている。入社後、2日
 間は互いの顔見世的な
 要素を多分に含んでい
 る。だからこそ新人ら
 には「どの職場でも元
 気よく挨拶し、若さと
 自分自身を大いにアピ
 ールしなさい」と繰り返して
 返し激励している「
 (榛葉社長)

間では社会人としての心
 能については、その都
 度、基礎から現場テク
 ニックまでを、上司や
 先輩らが時間をかけて
 指導していく。

翌日から現場での実習
 がスタートする。

「間接の仕事も含め
 て様々な業務を1年間
 かけて経験してもら



OJTで経験を積みドラフト会議を待つ

のが同社の伝統。職場
 長らに「あの子が(う
 ちの職場に)ほしい」
 と言わせるくらいの前
 向きな姿勢が必要なの
 だ。
 大手重工メーカーで
 新人時代を過ごした榛
 葉社長は「大手と中小
 企業を比べることもで
 きないし、仕組みも違
 う。ただ双方の良いと
 ころ、見習うべき点も
 多い。私の研修時代で
 は全体研修が多く、現
 場実習は比較的短かつ
 た。その分、自身の将
 来展望やキャリアプラ
 ンについての考え方を
 教えていただいた。今
 後、当社ももう少しキ
 ャリアプランを取り入
 れていきたい」
 さらに同社は新入社
 員教育だけでなく、社
 員教育の一環として今

夏、「溶接道場」を開
 設する。溶接を主体と
 する同社だが、これま
 で「道場」というよう
 な特定の施設は無かつ
 た。「溶接の基本をし
 っかり身につけ、更な
 るレベルアップ」を目
 的に、本社工場にハン
 ド溶接、また掛川工場
 にはハンド溶接とロボ
 ット溶接の作業訓練道
 場を作る。

榛葉社長は「仕事を
 深く掘りし、常に『何故、
 溶接できるのか』とい
 う、疑問とこだわりを
 持った溶接人、社員に
 なってほしい。それ
 を追求することで仕
 事の面白さと自身の成
 長につながり、プライ
 ドが生まれる。プライ
 ドを持っていて人は力
 になる。新しい人を入
 れてほしい」と新入社員
 教育の一環として今

にエールを送る。